



**すぐできる!**

**必ずできる!**

**みんなのできる!**

### ステージ1

- 朝のアクション
- 昼のアクション
- 夕のアクション

### 未然防止のアクション

- 5分早く教室へ(児童生徒の出迎え)
- 遅刻・早退・欠席者がいたら、顔をしながら出席確認、言葉かけ
- 必ず話題に(情報の共有)
- 児童生徒の寝めるところを探して
- 児童生徒と一緒に昼食
- チャンスを見つけて、言葉かけ
- 教室を出るのは最後に
- 教室環境を整えて
- 遅刻・早退・欠席者がいたら、連絡忘れず
- 遅刻・早退・欠席状況のデータベース化



### ステージ2

- 1日目のアクション
- 2日目のアクション
- 3日目のアクション

### 早期発見・早期対応のアクション

- 欠席1日で、必ず、様子をうかがう電話連絡
- 翌日の朝、笑顔で、言葉かけ
- 欠席2日で、安心感を与える電話連絡
- 欠席明けの朝、笑顔で、当該児童生徒への連絡の依頼
- 言葉かけ
- 欠席3日で家庭訪問し、保護者とじっくり話を
- 朝の会で、当該児童生徒のことを学級で話題に
- 学年教師に報告、欠席明けは、みんなで見守り、チャンスで言葉かけ

### ステージ3

- 分担のアクション
- 共有のアクション
- 評価のアクション

### きめ細かで継続的な支援のアクション

- 支援チームの編成、マンツーマン対応の責任者の明確化
- 当該児童生徒に関する情報の整理と分析
- 短期(1か月程度)目標と役割分担、当面の具体策の決定
- 当該児童生徒の小さな変化を探す
- 継続的に、短時間の打合せで情報共有
- 「できないこと」より「できたこと」の評価を
- チーム編成や指導計画の検討と修正
- 支援の継続に関わる教職員同士の声かけや励まし

